

令和4年度 市民意識調査

〒市民生活相談センター ☎ 983・2621

皆さんの意見や要望を市政の参考とするため、単純無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に市民意識調査を5月に実施しました。

調査は郵送およびインターネットで実施し、有効回答数は1,161件（うち、インターネットによる回答371件）でした。有効回答率は58.1%で、前年より0.2ポイント減少しましたが、インターネットによる回答が84件増加しました。

調査内容

【継続調査項目】

「居住環境」、「市の取り組みの満足度」、「各種計画の指標に関する項目」「幸福感」、「健康」、「自治会・町内会での活動」、「環境への取り組み」、「広報活動」、「楽寿園」、「災害対策」、「公共交通」、「文化的環境」、「障がいのある人への理解」、「男女共同参画」、「ドメスティック・バイオレンス」

【新規調査項目】

「性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）」

POINT ①

「市への愛着率」や「住みやすさ」が高い

- ▶ 「市への愛着率^{※1}」87.4%（前年度86.8%）は、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。

※1 市への愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」

- ▶ 「住みやすさ^{※2}」91.6%（前年度90.7%）も、高い数値が維持されています。

※2 住みやすさ＝「非常に住みやすい」＋「どちらかというに住みやすい」

POINT ②

「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足率が高い

「市の取り組みの満足度」の調査では、「ガーデンシティみしま」の関連項目を中心に高い満足率が維持され、歩道の整備などの生活基盤関連の項目の不満率が高い数値となっています。

【満足率（＝「満足」＋「やや満足」）上位3項目】

	項目(分類)	令和4年度(前年比)	令和3年度(順位)	令和2年度(順位)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり(都市基盤)	69.3%(+1.5ポイント)	67.8%(1位)	70.6%(1位)
2位	公園・水辺空間の整備(都市基盤)	58.7%(+0.8ポイント)	57.9%(2位)	63.0%(2位)
3位	「広報みしま」による市政情報の提供(協働・行財政)	54.7%(−0.8ポイント)	55.5%(3位)	57.6%(3位)

【不満率（＝「不満」＋「やや不満」）上位3項目】

	項目(分類)	令和4年度(前年比)	令和3年度(順位)	令和2年度(順位)
1位	歩道の整備(都市基盤)	41.1%(−3.1ポイント)	44.2%(1位)	37.9%(1位)
2位	三島駅周辺(北口・南口)の整備(都市基盤)	38.8%(+1.1ポイント)	37.7%(3位)	37.3%(2位)
3位	生活道路の整備(都市基盤)	38.5%(−0.9ポイント)	39.4%(2位)	35.7%(3位)

POINT ③

保健、医療、福祉のまちづくりへの期待が継続

将来都市像の調査では、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」への期待が継続しています。

将来都市像		令和4年度(前年比)	令和3年度(順位)	令和元年度
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち	28.7% (-2.5ポイント)	31.2% (1位)	30.6% (1位)
2位	自然や環境に優しいやすらぎのあるまち	18.4% (-0.6ポイント)	19.0% (2位)	19.4% (2位)
3位	災害に強く安全で安心して暮らせるまち	12.4% (+0.5ポイント)	11.9% (3位)	12.3% (3位)

※ 令和2年度は未調査

POINT ④

自治会・町内会での活動に参加する人が増えています

「あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか」の問いに対し、参加しているものに回答した割合は、72%で、前年より1.5ポイント増えています。参加している活動は、美化活動（ゴミ、町内清掃など）が4.3ポイント増加し、地域の情報伝達（回覧）も3.5ポイント増えています。

項目	令和4年度(前年比)	令和3年度	令和2年度
自治会・町内会活動参加率	72%(+1.5ポイント)	70.5%	69.3%

「あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか」への回答状況

項目(分類)	令和4年度(前年比)	令和3年度(順位)	令和2年度(順位)	
1位	美化活動(ゴミ、町内清掃など)	47.2(+4.3ポイント)	42.9%(1位)	28.3%(4位)
2位	地域の情報伝達(回覧)	45.0(+3.5ポイント)	41.5%(2位)	42.0%(1位)
3位	防災訓練	37.4(-1.1ポイント)	38.5%(3位)	41.4%(2位)

令和4年度の新規調査項目(性的マイノリティ)について

性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）の認知度や生きづらさを解消する取組への考えを調査しました。性的マイノリティの認知度については「言葉と意味の両方を知っている（59.2%）」の割合が最も高く、次いで「言葉は知っている（25.2%）」、「知らない（13.4%）」の順となりました。

市民に対する啓発については「賛成（41.3%）」「やや賛成（39.2%）」を合わせた賛成の考えが80.5%となりました。

パートナーシップを証明する制度の創設は、「賛成（44.1%）」「やや賛成（35.6%）」を合わせた賛成の考えが79.7%となりました。

調査にご回答いただいた皆さん、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。
調査の詳細については、市ホームページをご覧ください。



◀ 詳細はこちら